

まちづくりのコンセプト

1 いつきても、だれときても



- ・家族や友達、パートナーなどと過ごせる、お気に入りの海辺の居場所をつくります。
- ・特別感のある海辺の立地を活かした魅力的なコンテンツにより、そこが目的地となる水際線を目指します。

2 わくわくに導かれて



- ・その先に何が待っているのか期待感が高まり、つい歩みを進めたいくなる楽しい水際線をつくります。
- ・散歩、ジョギング、モビリティなど、海風を感じながら、移動そのものが楽しくなる仕掛けをつくります。

3 一日のはじまりから、おわりまで



- ・水際線ならではの体験の充実を図り、朝から水際線の魅力を堪能できる機会を創出していきます。
- ・水際線を彩る光の演出やナイトガーデンなど、コンテンツの充実を図り、夜まで楽しみ尽くせる水際線をつくります。

4 今ここでしか味わえない体験を



- ・水際線をフィールドに、躍動感・臨場感あふれるイベントやライブ、スポーツなどが繰り広げられている日常をつくります。
- ・歩いているだけで、そこにいてだけで、ここでしか見られない景色や瞬間に出会える水際線をつくります。

5 そして、水際線からまちなかへ



- ・連続するグリーン空間やイルミネーション等により、水際線からまちへと人々を誘う仕掛けづくりをしていきます。
- ・まちを訪れた人々が、飲食やショッピング等を楽しみ、横浜のまちを満喫できる機会を創出していきます。